

# 2020 年度事業報告書

自 2020 年 4 月 1 日  
至 2021 年 3 月 31 日

公益財団法人 徳島新聞社会文化事業団

## [1] 「第4回徳島新聞“輝け高校生”クラブ活動助成金」を贈呈

### ■公1 青少年育成助成事業

《実績》県内高校生の運動・文化クラブ活動を支援する事業で、2017年度から開始。昨年は新型コロナウイルスの影響で学校行事ができないことなどを考慮し、募集期間を6月20日まで延長しました。

運動部門に10クラブ（前年9クラブ）、文化部門に10クラブ（同7クラブ）の計20クラブ（同16クラブ）の応募があり、県高校体育連盟と県高校文化連盟に審査を依頼した結果、下記の運動・文化各5クラブの推薦があり、決定しました。贈呈式は7月22日に徳島新聞社1階会議室で行い、それぞれ20万円を贈りました。

《周知方法》各高校に文書通知、事業団HP、新聞広告（5月13日）、新聞記事（7月23日）

※助成金を授与した10クラブは以下の通り。

◇運動部	生光学園高校	陸上競技部
	板野支援学校	スポーツクラブ部
	徳島文理高校	フェンシング部
	城東高校	陸上競技部
	池田高校	レスリング部
◇文化部	徳島文理高校	郷土研究部
	海部高校	書道部
	阿南光高校	ものづくり部
	川島高校	音楽部
	徳島中央高校	人形劇団とくしま中央一座

## [2] 「第9回徳島新聞生命科学分野研究支援金」を贈呈

### ■公2 研究者活動支援事業

《実績》生命科学分野の研究に熱心な県内の大学生や大学院生を支援する事業。今回はコロナの影響を考慮し、募集期間を6月25日まで延長しました。

その結果、15件（徳島大学・大学院10件、徳島文理大学・大学院4件、四国大学院1件）の応募があり、永浜政博・徳島文理大学薬学部長らで組織する審査委員会（コロナのため書面審査）で、研究に対する情熱と意欲、研究活動資金不足のひっ迫度などを審査し、5件を選びました。贈呈式は7月28日に行い、徳島大学大学院の3人、四国大学大学院、徳島文理大学大学院の各1人の研究に各20万円を贈りました。

《周知方法》各大学に文書通知、事業団HP、新聞広告（5月13日）、新聞記事（7月29日）

※支援金授与者は次の皆さん。

・徳島大学大学院 薬科学教育部	月本 準
・徳島大学大学院 口腔科学教育部	大村 智也
・徳島大学大学院 薬科学教育部	城 裕己
・徳島文理大学大学院 薬学研究科	大境 千晴
・四国大学大学院 人間生活科学研究科	瀧野 佑

### [3] 「第26回徳島障がい者芸術祭 エナジー2020」を開催

#### ■公3 障害者芸術活動支援事業

《実績》感性豊かな障がい者アーティストの発表の場を設け、芸術活動を支援する事業。PRポスターは初めて県内の障がい者から広く募集し、例年通り県文化の森総合公園内の2施設で10月6日から11日まで開催しました。

新型コロナウイルスの感染防止のため、4月の準備会は中止し、開催の是非を各施設に聞き取り調査。障がい者からは開催を望む声が多かったため、「マスク、手指消毒、検温の徹底」をはじめ、「事前予約制と入場制限」「オンライン鑑賞会（10月8日～11月30日）」「ケーブルテレビ放映（10月20日、27日）」など、十分な対策を講じて行いました。

今回は265人・31団体から計300点が出展されました（前年278人・37団体から315点）。「コロナに負けるな」の意味合いも込めて「エール（応援）作品」を特別に募集。エナジー大賞など5つの各賞を選び、「密」を避けるため表彰式は行いませんでした。来場者総数は延べ2185人（前年3472人）。

《周知方法》各障がい者施設や各支援学校、徳島新聞支局や販売店などに実施要項とポスター配布、関係者に案内はがき、事業団HP、新聞社告（5月20日、8月30日）、新聞広告（8月8日、10月2日、8日）、新聞記事（8月19日、10月7日、10日）

### [4] 「第4回徳島新聞ふるさと元気事業支援金」を贈呈

#### ■公2 地域活性化企業支援事業

《実績》優れたビジネスモデルを持ち、地域の活性化にも貢献している創業5年以内の中小企業・小規模事業者を支援する事業。当事業団の評議員でもある中田祐児弁護士の寄付金を原資に2017年度から始めました。

今回は前年より5件少ない20件の応募があり、11月11日に審査委員会を開催。地元漁協や徳島大学と連携し、インターネットと独自の手法による、高品質で効率的なカキの養殖に取り組む「株式会社リブル」（海陽町）に支援金100万円を贈ることを決めました。贈呈式は12月7日に行い、過去の支援者を招いての懇親会も実施しました。

《周知方法》各経済団体や市町村商工関係団体に周知依頼文書・ポスター、事業団HP、新聞広告（9月10日）、新聞記事（12月2日、8日）

### [5] 「第49回歳末チャリティー作品・色紙即売展」を開催

#### ■公3 芸術・社会文化活動支援事業

《実績》今回は初めて県内3カ所（あわぎんホール、阿南市情報文化センター、阿波市アエルワ）で12月11日から21日まで開きました。特に県内外の障がい者アーティストの発掘に努め、「生の芸術 徳島の精鋭作家即売展」を同時開催。芸術家や著名人ら合わせて195人（前年202人）に協力していただき、絵画や手工芸、サイン色紙など487点（同501点）が寄せられました。

3会場と社内販売を含めた総売上額は4,403,950円に上り、前年に比べ579,850円増加しました。諸経費を差し引いた収益金は1,027,105円で、前年より116,167円減少しました。例年通り全額を徳島新聞社会文化助成金に充てました。

《周知方法》関係者や常連客らに案内はがき、新聞社告（12月8日）、新聞広告（12月10日、11日、30日）、新聞記事（12月5日、12日）

※出展者や売上額等は以下の通り。

出展者 195 人 (前年 202 人)

洋画家	86 人	日本画家	17 人	陶芸家	7 人
彫刻家	2 人	版画家	7 人	将棋棋士	5 人
水彩画家	1 人	書家	1 人	女流棋士	3 人
美術工芸家	2 人	手工芸家	28 人	囲碁棋士	2 人
漫画家	1 人	阿波踊り	1 人	藍染	4 人
ゴルフ	2 人	サッカー	5 人	生の芸術作家	21 人

作品 486 点 (前年 501 点)

	出品数		販売数	
美術作品	205 点	(200)	71 点	(200)
色紙作品	108 点	(143)	67 点	(143)
手工芸品	72 点	(73)	47 点	(73)
美術工芸品	39 点	(53)	6 点	(53)
生の芸術作品	62 点	(32)	33 点	(32)

総売上額 4,403,950 円 (前年 3,829,500 円)

(円)

内訳	2020 年	2019 年
会場販売	3,764,450	3,222,400
社内販売	287,500	112,100
阿波銀行	100,000	210,000
徳島大正銀行	150,000	200,000
大和証券	55,000	75,000
日興証券	35,000	0
ミマガクブチ	12,000	10,000
総売上額	4,403,950	3,829,500

諸経費 3,376,845 円 うち作者還付金 1,661,440 円

収益金 1,027,105 円 (前年 1,143,272 円)

## [6] 徳島新聞社会文化助成金を贈呈

### ■公2 社会福祉・文化振興活動支援事業

《実績》今回の 2021 年度分助成金には 62 団体から総額 817 万 1600 円 (前年 105 団体、

1456万4000円)の申し込みがありました。申請書を厳正に精査するとともに、県福祉基金や県社協などから助成を受けた団体を除外するなどした結果、40団体(総額362万円)に贈ることを決めました。前年(81団体、670万円)より308万円減となっています。コロナの影響で昨年活動ができなかった団体が多く、そうした団体が申請を見送ったためとみられます。地域で活発に活動する障害者団体、福祉・ボランティア団体、文化振興団体、また初申請の団体に優先的に配分しました。贈呈式は3月19日に行いました。

《周知方法》事業団HP、新聞広告(1月8日、2月9日、3月14日)、新聞記事(3月20日)

(単位：千円)

団体名	代表者	前年度	申請額	決定額
<b>◆肢心障害者関係 (7団体 450) (申請は21団体 2,540)</b>				
徳島県重症心身障害児(者)を守る会	杉本 勝	50	50	50
徳島車いす友の会	井村 咲子	50	50	50
徳島県自閉症協会	島 優子	50	200	50
徳島県筆記通訳者協会	林 明実	80	200	100
徳島ウイングス	西上 勝	80	150	50
北島町音訳ボランティア もくせい会	正富 章子		100	50
特定非営利活動法人 補助犬とくしま	杉井 ひとみ		200	100
<b>◆内部障害者関係 (1団体 50) (申請は2団体 100)</b>				
徳島県内部障害者団体	奥村 忠男	50	50	50
<b>◆視聴覚障害者関係 (2団体 130) (申請は5団体 490)</b>				
阿南市視覚障がい者連合会	土肥 康弘	70	70	50
徳島ロービジョンネットワーク	四宮 加容	70	100	80
<b>◆医療奉仕団体 (3団体 250) (申請は4団体 500)</b>				
とくしま骨髄バンクを支援する会	池田 良一	50	50	50
アフリカ眼科医療を支援する会	内藤 毅	100	200	50
徳島県ハンセン病支援協会	十川 勝幸	150	200	150
<b>◆地域社会福祉団体 (14団体 1,110) 申請は17団体 2,142)</b>				
グランマ	稲井 美緒子	100	100	80
とくしま食育推進研究会	野間 智子	50	200	80
(特非)月見ヶ丘海浜公園を育てる会	加賀見 孝志	50	100	50
徳島県交通遺児育成会	飯泉 嘉門	100	100	100
とくしまチャイルドライン	亀井 栄子	70	200	50
ストップDV・サポートの会	湯浅 真由美	50	150	100

徳島県高等学校定時制通信制教育振興会	長尾 哲見	50	50	50
烏雲先生をたたえる市民の会	藤原 学		200	150
おもちゃ病院 鴨島診療所	大西 春男	80	130	70
NPO法人協働プランニングNIMS	瀬尾 規子		60	60
とくしま動物園ボランティアの会	山下 健一	50	50	50
徳島県女性協議会	大寺 禮子		150	150
女性への暴力根絶をめざす徳島ネットワーク	佐野 正代	50	195	50
CAP とくしま	日下 智賀子	50	117	70

◆郷土芸能・文化関係 (13 団体 1,630) (申請は 13 団体 2,400)

阿波の歴史を小説にする会	竹内 菊世	200	200	200
小松島市阿波踊り振興会	安平 剛之	80	150	100
阿波木偶作家協会	桑原 信義		200	200
徳島科学史研究会	西條 敏美		200	150
徳島早苗会・青の会	杵屋 佐篠	150	200	200
ハンガリー音楽を楽しむ会	山本 賀彦		200	100
徳島邦楽集団	藤本 玲	200	200	200
蜂須賀まつり実行委員会	大西 智城	100	200	100
徳島県総合型地域スポーツクラブ連絡協議会	新久保 眞度		200	70
芸術と遊び創造協会 徳島支部	春山 園世		50	50
徳島少年少女合唱団	上田 収穂	100	200	100
絃翠琵琶の会	小林 和子		200	80
勝瑞城遺跡をたいせつにする会	福永 高治		200	80

[7] 「第48回徳島新聞奨学生」の選考・決定

■公1 青少年育成助成事業

《実績》県内外の大学に進学する学業、人物ともに優秀な高校生15名に奨学金を贈る事業。今回(2021年度生)は県外文系10人(定員6)、同理系10人(定員5)、県内文系ゼロ(定員2人)、同理系5人(定員2)の計25人(9校)の応募がありました。前年度の応募数50人(14校)と比べ半減しました。

筆記試験を7月26日に行った結果、家庭事情や困窮度なども考慮し、20人を選考。8月23日に面接試験を実施し、内定者15名と補欠者5名を決めました。

県外文系は内定者6人全員が合格。県外理系は内定者5人のうち2人が辞退したため補欠2人を繰り上げ。県内文系は志願者がゼロだったことから同理系の定員を1人増やしましたが、内定者3人のうち1人が辞退、補欠1人を繰り上げました。その結果、徳島新聞奨学生11人とキョーエイ奨学生3人を合わせた計14人を決定しました。贈呈式は3月26日に行いました。

《周知方法》各高校に文書通知、各高校と各徳島新聞支局・販売店などにポスター、事業団HP、新聞広告(6月5日)、新聞記事(8月24日、3月27日)

※第48期生（2021年度）の奨学生は次の皆さん（氏名・進学大学・出身地・出身高校の順）

◇**県外大学**（月額奨学金 55,000 円、支度金 50,000 円）

文系（5人）

矢上 ひかる	広島大学教育学部	名西郡	城ノ内
須藤 愛葉	奈良女子大学生生活環境学部	吉野川市	城ノ内
魚井 敬介	大阪大学経済学部	徳島市	城ノ内
忠津 美穂	大阪大学法学部	鳴門市	徳島市立
米崎 葵衣	早稲田大学文化構想学部	阿南市	富岡西

理系（3人）

山田 恋夏	大阪府立大学地域保健学域	小松島市	城南
原本 彩帆	京都大学医学部	徳島市	城ノ内
木下 紫恩	北海道大学水産学部	美馬郡	脇町

◇**県内大学**（月額奨学金 30,000 円、支度金 30,000 円）

文系（0人）

理系（3人）

日高 萌実	徳島大学薬学部	徳島市	城南
山口 彩純	徳島大学医学部	徳島市	城東
松岡 出海	徳島大学薬学部	板野郡	城南

◇**第38回キョーエイ奨学生**

清水 優衣花	神戸薬科大学薬学部（6年制）	徳島市	城東
高石 晃太郎	大阪大学法学部	徳島市	城ノ内
佐藤 奨起	徳島大学医学部保健学科（4年制）	板野郡	生光

※2021年3月で給付の終わった人の進路は次の通りです。

▽第42期生

南 まどか	（名古屋市立大学医学部）	日本調剤（株）
-------	--------------	---------

▽第44期生

山田 有里	（大阪大学人間科学部）	（株）WAVE
梅岡 綾	（広島大学教育学部）	数研出版（株）
山咲 美智	（岡山大学文学部）	（株）指月電機製作所
喜多 由莉奈	（慶應義塾大学法学部）	住友電気工業（株）
香美 玲奈	（津田塾大学総合政策学部）	（株）リクルートマネジメントソリューションズ
殿谷 大成	（京都大学工学部）	京都大学大学院

## [8] 「第2回徳島ハート奨学生」の選考・決定

### ■公1 青少年育成助成事業

《実績》母子家庭を対象に人物面で優れた高校生らに奨学金を贈る事業。徳島市内で医院を営む坂東正章医師からの寄付金100万円を原資に創設し、本年度からは「坂東ハート」を「徳島ハート」に名称を変更しました。昨年度に比べ10人少ない11人（8校）の応募がありました。

今回は名称を変更したこともあって周知PRに力を入れ、寄付金を寄せてくれる人が大幅に増えました（4月20日現在、403万5千円）。このため、定員を2名から4名に増やしました。筆記試験（作文）と面接試験を8月2日に行った結果、上位の4名を内定。全員が大学に合格したため最終決定しました。

《周知方法》各高校に文書通知、各高校と各徳島新聞支局・販売店などにポスター、事業団HP、新聞広告（6月5日）、新聞記事（8月3日、3月27日）

◇第2期生（2021年度）の奨学生は次の皆さん（氏名・進学大学・出身地・出身高校の順）

関	宏都	徳島大学理工学部	阿南市	阿南工専
林	果鈴	徳島大学総合科学部	鳴門市	城南
増田	優介	鳴門教育大学学校教育学部	板野郡	徳島北
佐藤	媛袈	四国大学看護学部	徳島市	徳島市立

### [その他] 寄付金の受け入れ

2020年度は42件、6,865,000円の寄託がありました（徳島新聞分10,000,000円除く）。前年度に比べ23件増、金額では2,683,105円増えました。



## 内部統制システムの運用状況の概要

コンプライアンス規程を策定し、法令及び定款の遵守と、業務の適正を確保するための体制の整備を引き続き進めました。これらの規定に基づき、監事は、業務の有効性・効率性及び財産管理の状況をチェックし、理事及び職員の職務の執行が、法令・定款に適合しているかどうかの調査・確認に努めます。

## 事業報告附属明細書の不記載

2020 年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」（公益財団も準ずる）第 34 条第 3 項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しません。

2021 年 5 月 11 日

公益財団法人 徳島新聞社会文化事業団